

子宮内細菌叢検査

EMMA/ALICE

子宮内膜マイクロバイオーム検査

感染性慢性子宮内膜炎検査

子宮内膜の細菌の割合と種類を調べる検査です

健康な子宮内膜や腔粘膜には乳酸桿菌が豊富に存在し、良性の乳酸桿菌の割合が高いと、子宮内膜炎や卵管炎、骨盤腹膜炎が起こりにくく、妊娠しやすくなる可能性があることが報告されています。子宮内膜の乳酸桿菌がどの程度存在するかを知ることで細菌バランスを整えるための最適な治療をすることができ、妊娠の可能性を高めます。

また、慢性子宮内膜炎を起こしやすい病原菌を検出することで、適切な抗菌薬やサプリメントをご提案することができます。

対象

胚移植を繰り返しても妊娠に至らない反復着床不全の患者様やなかなか慢性子宮内膜炎が治らない場合におすすめします

検査方法

月経終了後4日目以降の内膜が厚くなる時期に子宮内膜組織の一部を採取します。EMMA/ALICEは同時にセットで行います。

● Endome TRI0検査

EMMA/ALICEは、ERA検査と同時に検査(TRI0検査)が可能です